

fukui.doyu.jp



福井県中小企業家同友会

vol.78 September. 2013

2013年9月13日発行

〒918-8205 福井市北四ツ居1丁目34-19 サンロードビル1F Tel/0776-54-9699 Fax/0776-54-9991 E-mail/info@fukui.doyu.jp



経営指針成文化セミナーは、 経営の土台づくりの第一歩。

「第一回経営指針成文化セミナー」

経営労働委員長
（株）スタートアップ経営 代表取締役

青木 克博 会員

8月10日(土)11日(日)、福井県中小企業大学校において「経営指針成文化セミナー」が開催されました。講師に(有)第一コンサルティンクの丸山博先生をお招きしての1泊2日の合宿セミナーでした。1日目は午前10時～午後11時30分、2日目は午前9時～午後5時というスケジュールで行われ、総勢15名の参加者が、昼夜を問わず、経営指針



作成に熱い闘志を燃やした2日間でした。初日は経営指針作成には重要な基礎的知識をご講義いただきました。経営者の責任、労使関係など、中小企業における労使関係の見解を詳しく紐解いた後、「何のために経営するのか」「やりがいのある仕事とは何か」など、経営理念の確立に向けた内容に迫っていきました。そして経営方針作成に至る「自社の歴史」や「自社の強み」を認識し、「顧客の定義」をし、「自社の業の定義づけ等の自社事業分析」、「外部環境分析」などを行いました。2日目は持参した決算書を検証し、いよいよ経営指針の成文化作業へと移っていきました。

2日間を通して感じたことは、丸二日かけてようやく自社のことを数%理解することができた程度で、普段いかに実務に追われて、大切な理念や方針、計画をおろそかにしてきたかを痛感させられました。合宿後はさっそく自社に持ち帰り、いち早く経営の土台を確立するべく成文化に励んでおります。



中小零細企業のための政策講演会

あなたは、国や県が進める政策の方向を知っていますか？

— 基礎体力をつけ、地域に役立つ企業として生き残るために —

レポート 政策委員長 奥村 繁子 会員 (株)リヴル総研 代表取締役



【講演会概略】

6月29日、中小企業憲章推進月間の取り組みとして、「中小零細企業のための政策講演会」を福井県産業情報センタービルで開催しました。



経済産業省 中小企業庁
事業環境部 企画課長
元 福井県産業労働部 部長

蓮井 智哉 氏

第一部では「大転換時代の国家成長戦略をふまえた、これからの経済政策を知る」と題し、蓮井智哉・中小企業庁事業環境部企画課長が講演。中小企業憲章について、政府が総力を挙げて中小企業政策に取り組むというメッセージが込められている点が重要であり、今後についても、政権交代はあったが、中小企業を支援するというミッションは、どの政党であっても変わらないと強調しました。

続く第二部は、田岡卓晃・福井県産業労働部企画幹、萬道正之・坂井市産業経済部次長、鋤柄修・中同協会長の3名をパネラーに、古市副代表理事がコーディネーターを務め、パネルディスカッション。

田岡氏は県の経済政策、萬道氏は坂井市中小企業振興条例について説明。鋤柄会長は「憲章づくりと条例づくりは同友会三つの目的に総合的に取り組むことであり、同友会運動の神髄である」とお話ししていただきました。

【講演会開催までの経緯と謝辞】

当日は250名近くの動員と20社の出展による、同友会と始めて以来の力が結集され、誠に盛会となりました。参加者の皆さんから多くの喜びの声をいただき、同友会にはまだまだ力があるねと称賛の言葉もいただきました。これもひとえに実行委員の皆さんのご努力の賜物と感謝申し上げます。



パネルディスカッションの様子

り、経緯を説明申し上げます。2月4日に『第21回中小企業憲章条例委員会』が東京で開催され、初めて福井同友会として参加し、福井同友会の出遅れを感じ、挽回するために、何か行事を企画しなければと思いました。

3月28日、まだ新年度前でしたが、特別に次年度政策委員予定者で第一回政策委員会を開催し、本年度の取組みとして『政策講演会』を開催すること。そして、福井同友会の行事として、例委員会と合同で、全会員参加を目指すこと、参加動員数、ブース出展数などを決めていきました。

4月10日、第一回実行委員会では、定時総会前ですが予定者として各委員会の委員長と各部会の部長、正副代表、政策委員で実行委員会を構成しました。また、各委員会・部会ごとに10名ずつの動員と、当日の役割分担の要請をしました。

6月3日には東京での中同協主催中小企業憲章条例推進月間キックオフ集会に参加。この後も開催日までには何度も合合を開き、綿密な打合せや動員数の確認、参加呼びかけを徹底しました。

これまでにない大がかりな講演会でしたが、このように多くに方々のご協力を受け、みなさまのご参加を賜りましたことを心より御礼申し上げます。いろいろ不行き届きで反省点も残りましたが、次回への課題として、福井同友会の発展のために力を尽くして参りたいと思っております。



ブース出展の様子



交流会の様子

合同企業説明会

福井同友会として 『共同求人』を初めて実施!

レポート 社員共育委員長 水島 正芳 会員 北陸トラック運送(株) 代表取締役



今回は、初回ということであまりハードルを上げず、福井大学と福井工業大学の2校に絞り込んで開催しました。両校の就職支援課の方々も非常に前向きで、大企業ではなく地元の中小企業に就職したいという学生も大勢いることを教えていただきました。大企業は、既に企業単位で就職説明会を開催されているとのことでしたが、我々中小企業家同友会としては、社長（又



7月18日(木)に共同求人を実施しました。福井同友会としては初めての取り組みであり、私自身、社員共育委員会の委員長を務めさせていただきながら、県外同友会での情報も無く、手探りでこのスタートとなりました。

はそれに準ずる人)が直接学生と話し、理念やビジョン、熱い思いなどを伝えることで、大企業の説明会と差別化することになりました。

直前の7月6日(土)〜13日(土)に県内6会場(福井市はフェニックスプラザ)にて「サマー求人企業説明会 in 福井」が盛大に開催されており、本来に学生が集まるか不安でしたが、当日は、会員企業9社(福井大7社、福井工大8社)の参加があり、参加学生数は、福井大5名、福井工大25名でした。特に福井工大では、一度に6名を面接するといった場面も見受けられ、大成功であったと確信しています。その後、日を改め、企業見学や2次面接が行なわれているこ



とも聞いております。

これらの学生が、この共同求人により、我々会員企業に就職が決まり、来春よりバリバリ働いていることを祈念いたします。

また、今回参加されなかった会員企業も、次回は是非参加し、学校や学生にアピールしていただきたいと思えます。なお、今回の共同求人での評価や今後の課題等を簡潔にまとめてみました。

【目的について】

● 社長（又はそれに準ずる人）が直接学生と話し、熱い想いを伝える。

● 学校および学生に対して、会社の存在・業務内容をアピールする。

（悲しいかな我々中小企業は、ほとんど会社名や何をしている会社か把握されていません。したがって、就職活動する時の選択肢にも入っていないのが現状です。）

● 会員企業の経営者は、共同求人を通して、効果的な面接方法について学ぶ。

（学生は、就職面接について、しっかりと勉強しています。我々も共に学び、共に育つべきです。）

【課題】

- 開催時期の検討
（一番効果のある時期は?）
- 開催学校の拡大
- 共同求人への進め方を作り上げていく

参加企業のコメント

- 採用に繋がりそうです。参加して良かったと思います。
- 社名だけで仕事内容もイメージしている学生さんもいることが分かりました。
- 学生さんと会話することで、『現在の学生さん』を感じ取ることができ、今後の採用対応にも大いに役立つ経験でした。



7月県例会

何もしないより、 動いて現状打破を試みよう

老舗本屋から介護分野への異業種進出報告

報告者 **安部 悟** 会員 (株)安部書店 代表取締役



【本屋の現状】
「本屋は無くなるよ。」安部会員が副代表理事の時に言われた言葉です。
平成17年、福井県書店商業組合の理事長に就任。昭和57年10月にスタートした組織で120名いた会員が、今年4月1日には47名にまで減少。約60%が廃業し、その中にはご存知の品川書店やひまわり書店も含まれています。市場規模も1996年に2兆65



シニアフィットネスクラブ リハートふくい

7月25日(木)に7月の県例会が行われ、老舗本屋から介護分野への異業種へ進出した安部会員による報告でした。

「異業種進出への決意」
きっかけは福井コンピュータメデイモ事業部から「トレーニングマシンを使ってジムをやってくれないか」との依頼を受け、介護予防事業を展開している会社と知り合い見学。「これからは病院で治療するのではなく、予防するへ」と知ります。2006年には介護保険制度の見直しもあり、国が『より長く家で過ごしてもらおう』予防に力を入れることになったのです。これらのことよって介護事業への進出を決意。FCに入ろうともしましたが、福井で立ち上げることになりました。

00億円から、2012年は1兆7500億円となり、なんと35%落ちの状況です。
また時代とともに本屋を取り巻く環境が変化。テレビの普及に始まり、『大型書店』登場から『コンビニ』登場、『携帯電話』が普及、その後『大型の古本販売店』登場。最近では『スマートフォン』、そして『電子書籍(タブレット端末)』の登場です。このように時代の変化に世帯数の減少も伴って、本を買わない時代に移行しているのです。



【シニアフィットネスクラブ リハートふくい】
安部書店が『運営』、メディアモが『企画・会員募集など』、リライムに『場所の提供』の体制で、2009年5月開業。開業時は社員1人でスタート。リハートふくいは、利用者さんの介護度に合わせて約3時間の健康チェックやトレーニングを行う『介護予防フィットネス』に特化した、通所介護・介護予防通所介護事業施設です。
初月度の売上7万4000円。介護事業の場合、要介護者を包括支援センターが振り分けるため新規参入者に厳しい状況でしたが、「利用者の満足度向上が売上に繋がると」とトレーニングだけではなく、『ティータイムでの談笑』や『発声練習での熱唱!』など利用者さんの心身のリフレッシュを提供。

「スタッフに恵まれたこともあり、今期の決算では多少プラスになる予定です。さらに来期は120〜130%の伸びが予想できるまでになり、書店をフォローしてくれる存在になっていくと確信しています。」(安部会員)
「止めたら」という声、苦悩の連続。しかし、『利用者さんの笑顔』と、事業を成長させるために一歩一歩、挑戦してきたこと、そして多くの仲間にも助けられたからこそここまでこれたと言います。現状のまま今だけを考えていると必ず衰退していきま。何かに挑戦をし続け、そして同友会も含め、人とのつながりを大切にして行ってこそ成功するのです。

会社概要

株式会社安部書店

■福井市大手2-12-4
■Tel/0776-22-2846
■Fax/0776-27-3959
■創業/昭和20年12月
■従業員数/9名
■業務内容/書籍等の販売

リハートふくい

■福井市開発5丁目1207
■コミュニティリゾートリライム1F
■Tel/0776-74-0810
■Fax/0776-74-0811
■創業/平成21年5月
■従業員数/11名
■業務内容/介護事業

南越例会を越前市で初開催!

経営理念を本気で実践、 企業文化へ

人を生かす経営の根幹に据えて

報告者 永杉 宏之 会員 ながすぎグループ 代表取締役社長



8月2日(金)17時から、武生商工会議所4F会員サロンにて、福井同友会南越例会を開催。同友会では現在、南越支部の設立にむけて準備を進めていることもあり、100名近い参加者の中、熱気あふれる例会となりました。

岩井代表理事の、南越支部設立の意気込みを感じる挨拶の後、ながすぎグループの永杉宏之会員による例会報告を行いました。

【経営報告】

永杉会員は、福井県内でハニーやビッグマーケット、8番ラーメンなど、食に関する彩な事業を展開しており、その中で感じ、実践していることを具体的な事例を交えながら報告いただきました。お話の中で特に参加者が興味を引かれたのは「ストローク」を生かす経営について。ストロークとは相手を認め、反応し、心を満たすこと。私たちが社会的な生活をするうえで、人との接触から得られる刺激を「ストローク」と呼びます。例えばカラオケで歌い終わったときに、拍手をしますが、手元でばらばらと手をたたく人もいれば、頭の上で大きく

拍手してくれる人もいます。されてうれしいことを自分もできれば人間関係も上手くいきます。簡単なことのようにですが、実践するには自分の意識を変えていかないと難しいものです。この人間関係構築能力を伸ばすことは、相手に思いを気持ちよく伝え合うことになり、この能力は理念や目標、目的を社員と共有していくために重要であり、社員と共にベクトルを合わせてこられた理由のひとつだと思っておりますとのことでした。

【グループ討論】

報告後は、10に分かれたテーブルでグループ討論を行い、そのうち4テーブルが代表で討論内容の報告を行いました。討論テーマを①労使が共に学び、育ち合う企業づくりとはどのようなものか? ②新しい仕事づくり、市場の創造に挑戦していますか? としてそれぞれ、自身の会社を顧みて発表を行いました。

【懇親交流会】

その後は会場を移して懇親交流会を開催。今回の例会開催に際し、また南越支部設立

準備に奔走されております。ジネス物語の山腰会員が、「本気になれば人が動き、人が動けば結果が出る。結果が出れば組織ができて、本日もなまご縁ができました」との挨拶で乾杯をして交流会が始まり、新しい組織の誕生を期待しながら絆を確認し深めていきました。



懇親会の様子

会社概要

なかすぎグループ

- 鯖江市小黒町1丁目15-23
- Tel / 0778-52-6778
- Fax / 0778-51-7655
- 創業 / 大正6年3月
- 従業員数 / 550名(グループ全体)
- グループ会社 /
 - 株式会社 ながすぎ(ハニー6店舗)
 - 株式会社 いずもや(ハニー3店舗)
 - 株式会社 アモーレながすぎ(8番らーめん5店舗・炭火烧肉屋さかい1店舗・コマダ珈琲店2店舗)
 - 有限会社 永杉政士商店(不動産・店舗管理)

第16回 女性経営者全国交流会

未来をひらく力を育みます

— 女性のちからで地域をつなぎ、明日をつくる —

レポート

清水 幸枝 女性部会長 プレーティング シミズ(株) 取締役
木本 恵利子 女性部会員 (株)西武補聴器センター 代表取締役



平成25年6月13日、14日に第16回女性経営者全国交流会が、大阪帝国ホテルにて開催されました。今回のメインテーマは、「未来をひらく力を育みます」女性のちからで地域をつなぎ、明日をつくる。好きやねん！この人、この街、この絆！。全国から809名が参加。福井同友会からは、福井、敦賀から10名が参加。今回初めて男性も4名が参加しました。

【分科会に参加して】

初日、13時から全体会、続いて問題提起、分科会が開始されました。参加した第4分

科会は、「ワーク・ライフ・バランス」を考慮して、女性の視点でビジネスに新風を起こしましょうという話から始まりました。女性社員にはコミュニケーションが必要であり、女性社員は意見を聞いてくれる上司についていくの

「絶望の中にも希望があり、存続している事は意味があり価値がある。」
高橋社長は、「ホームページから出し続けていた「知って下さい」と言うメッセージが大きな反響を呼んでいます。スクリーニング(被曝検査)を受けるのに83歳のおばあちゃん



(株)北洋舎クリーニング 代表取締役 高橋美加子氏

現代は、会社だけでなく地域、国を含めたライフワークが必要で、「良い会社」とは「仕事も生活も充実しているイキイキ社員を増やすこと」である、とまとまりました。

福島県内原発事故被災地で事業を展開する、(株)北洋舎クリーニング代表取締役高橋美加子氏の「子供たちを安心して育てられ

る町に地域再生は私たちの手で」をテーマに記念講演がありました。
「南相馬はたしかに未来に向かって動き出しています。ここで新しい暮らしをつくるチャレンジを続けていきます」と締めくくりました。一時間半の素晴らしい講演で、感動のうずで拍手が鳴り止みませんでした。



懇親会の様子



分科会の様子



定時総会

中同協第45回定時総会 参加報告

レポート 内田 光紀 副代表理事 (有)けんこーや 代表取締役

去る7月11～12日、宮崎県シーガイアで開催された、中同協第45回定時総会に、古市副代表、高村事務局次長とともに参加して参りました。

私自身、昨年の岐阜県で開催の第44回定時総会では報告者という立場でしたが、率直に言うところ、一参加者の方が気持ちには楽ですね。

さて、私が参加した分科会は、『経営指針の成文化と実践運動』がテーマ。報告者は(株)ローヤルエン지니어リング、(株)DAI Eリーペア(設備工事・空調・給排水・メンテナンス)を経営されておられる、川原八洋氏でした。

同氏は、29年前36歳で3人の仲間と、出資を受けて9坪のプレハブから創業。5年目に工事完工高10億円という創業当初の目標を達成するなど、順調に社業を成長させてこられました。創業7年目に労働環境に対する社員の不満が勃発。社員を入れてもすぐに辞めるといふ負のサイクルに陥り、大きな挫折を味わいます。

その頃、同友会で経営指針について学び、社員、協力業者と本気で向き合いたいと思っただけで、いい会社にしてほしい、誰もみな思うところが違いますが、いい会社にしたいと思っただけで、いい会社に気付きません。それ以降、社員や協力会社を、共に会社を良くしてゆくためのパートナーであり、社員それぞれの長所を伸ばすのが社長の役割であると考え、全員参加型の経営を追求して行かれたこと。その一例として、

『行動基準50項目』を明文化し、自分たちが働きたい会社を自分たちの手で作るといふ社風が根付き、業績も順調に推移しているとのことでした。

経営指針を成文化し、会社のあるべき姿を社員に示し、社内での共有を図って行くことが、良い会社づくりの重要な一手になることを、改めて再認識できた分科会でした。全国大会には、自身が目指す理想の会社づくりのヒントがたくさんあります。皆さんも是非、全国大会に行きましょー!

北陸青年経営者三県合同例会

実践から気付いた経営の本質

仮面を脱いだ〇〇税理士

レポート 大脇 豊弘 青年部会員 (株)大脇萬蔵商店 専務取締役



宮崎公認会計士 税理士事務所 宮崎英行氏

7月20日(土)富山のANAクラウンプラザホテル富山にて、第6回北陸青年経営者三県合同例会が「新たな成長がここにある!!」をテーマに開催。

北陸三県の青年経営者の他、先輩経営者、他府県からなど、総勢168名(福井21名、石川59名、富山60名、他県28名)の方々に参加頂きました。

報告者の石川同友会宮崎公認会計士税理士事務所宮崎英行氏から、「実践から気付いた経営の本質」を題目に、同友会運動を通して「お客様に勇気と明るさを提供すること」が自社の存在意義だと

気付き、それを実践していくことで仕事はついてくる、そしてそのことが会社の発展に繋がるなど盛りだくさんの報告がありました。

その後「必要な会社ってどんな会社」をテーマに、全24テーブルで青年経営者らしい熱い討論が繰り広げられ、答えが明確である方、その答えを探す為に同友会で学んでいる方など、各人が再認識、気付きの多い討論だったと思います。

私自身、初めて実行委員として、富山、石川の実行委員と度重なる打合せに参加させて頂きました。福井同友会とは違った文化に触れることが出来、発言や運営を通して私自身の成長の場でもありました。

過去最高の参加者で盛大な会でしたが、改善すべき点も多々ありました。更なる学びの提供の場としてまた交流の場として、次年度に向けしっかり改善出来るよう実行委員で評価し改善していきます。最後に、本例会の開催にあたりご協力頂きました皆様へ感謝申し上げます。来年は福井から報告者を出す予定ですので、次年度へのご協力も是非ともお願い申し上げます。

NEW MEMBER **新** 会員紹介 INTRODUCTION

福井低温冷蔵 株式会社

代表取締役

揚原 隆太 会員

(2013年3月入会)



会社概要

住所/福井市春日2-4-23
Tel/0776-34-1771
Fax/0776-34-1795
業務内容/乳製品卸業、業務食材卸業

仲村家具 有限会社

マネージャー

仲村 昌紘 会員

(2013年3月入会)



会社概要

住所/坂井市丸岡町松川1-15
Tel/0776-66-2198
Fax/0776-66-6859
業務内容/家具販売

ジョブネット北陸

代表

北嶋 充司 会員

(2013年2月入会)



会社概要

住所/福井市灯明寺町1-1-33
Tel/0776-25-3690
Fax/0776-58-3690
業務内容/広告代理業(求人専門)

ベースライン 株式会社

代表取締役

田中 真一 会員

(2013年5月入会)



会社概要

住所/福井市中央1-21-40
Tel/0776-97-5497
Fax/0776-97-5498
業務内容/ウェブマーケティング

株式会社 総合代行

会長

渡辺 健一 会員

(2013年4月入会)



会社概要

住所/福井市西開発1丁目2503番地1
Tel/0776-57-2323
Fax/0776-57-2385
業務内容/保険代理店

イワイ 株式会社

取締役統括部長

白嶋 元裕 会員

(2013年4月入会)



会社概要

住所/福井市松城町15-11
Tel/0776-53-1010
Fax/0776-53-1009
業務内容/オフィス用機器・用品販売

株式会社 アートテクノロジー

代表取締役

光川 幹夫 会員

(2013年5月入会)



会社概要

住所/鯖江市上河端町6-1-33
Tel/0778-54-8080
Fax/0778-54-8088
業務内容/ソフトウェア開発・電子デバイス開発

吉村美幸

代表

吉村 美幸 会員

(2013年5月入会)



会社概要

住所/越前市広瀬町133-4-1
Tel/0778-22-0575
業務内容/生命保険代理業

株式会社 カズマ

代表取締役

数馬 國治 会員

(2013年5月入会)



会社概要

住所/福井市八重巻町105
Tel/0776-56-4006
Fax/0776-56-4007
業務内容/カーテン製造販売

第3期 社員共育大学開講のご案内 ~経営者と社員がより真剣に共に学び共に育つ~

人材育成こそ企業発展の原動力、社員を育てる教育力格差がすなわち企業格差になります。社員との労使での高い次元での信頼関係を目指して、共に育ち合う、教育的人間関係を打ち立てていきます。是非、社員の皆さんと一緒にご参加ください。

全
3
講

9月21日(土)/9:00~12:00 「社員の価値観を踏まえた形でのコミュニケーションの活性化」

10月12日(土)/9:00~12:00 「顧客に対する価値提供」

11月 9日(土)/9:00~12:00 「採用力をあげるためには」

定員30名

受講料 全3講/9,000円(1名) 単講受講/4,000円(1回) 会場 福井県中小企業産業大学校 第一・第二中教室